

遭難防止講習会 報告書

東家友也

埼玉県警山岳救助隊のご指導のもと、遭難対策講習を行いました。

場所は芦ヶ久保からすぐの横瀬二子山。

芦ヶ久保駅に集合し、地図を配布されます。まず、いくつか救助隊の方から質問。

本日の日の出、日の入り時刻は？前日本での天気は？

どれも基本的なことですが、調べていません。そもそも場所も二子山としかわからず、どのルートかもわからない。講習だからと、ちょっと杜撰な準備でした。

登山をしながら、実際の遭難事例などの説明を受けながら、講習をすすめていきます。学習登山コースとなっており、途中のポイントでは登山するにあたって必要な事柄が書かれています。

標高は 900m 弱の山ですが、熊の出没、蜂の被害があったり、実際に遭難されてなくなられた方もいます。

地図で見る限りではわかりませんが、実際には滑りやすい場所があったり、道が荒れてたりします。危険と思われる場所では、ロープを出して補助をだしたりと、ちょっとした作業でも、安全性が高まるということが実感できました。

蜂の対処法やセルフレスキューの訓練などもあり、登山をするものとして、必要な内容が実訓練で行えるのは、非常に有意義なことだと思います。

埼玉市岳連の講習のため、加盟山岳会のみ参加ですが、このような内容は山岳会の人だけでなく、登山を行う者一人一人が身につけておくスキルだと思います。自分だけでなく周りにも広げていくことで、遭難事例は減るのではないかと思います。